

～参加者からゲストへの質問～

回答者：テーマ2「地域づくりと市民協働」 ゲスト：三矢勝司さん（NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 事業推進マネージャー）

No.	質問	回答
1	市民が自ら企画、運営していこうという原点・きっかけは何だったのでしょうか。設置当初の動き、循環させる仕組み。	岡崎市図書館交流プラザりぶらにせよ、籠田公園にせよ、市民発意のプロジェクトが立ち上がったきっかけはワークショップ。ワークショップの中で考える機会を企画したのは、コーディネーター（NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた）です。
2	市民と行政の対話、市民と市民の対話を、誰（どこ）が主体となってリードしたりきっかけを作っていくのでしょうか？また、いつ（どこ）で始まるのでしょうか。	岡崎市図書館交流プラザりぶらの基本設計に市民意見を反映させる、その対話の場が必要と判断したのは行政です。行政が NPO 法人岡崎まち育てセンター・りたに、その場の企画運営を委託した、という関係です。
3	都市中心部の図書館や交流施設では駐車料金が問題になると思います。駐車料金が気になって長時間過ごしにくい気持ちになります。岡崎市のりぶらでは、駐車料金はどのようになっていますか。小千谷市の施設への提言も併せてお願いします。	岡崎市図書館交流プラザりぶらの場合、施設周辺が商業地区で有料駐車場ばかりのため、有料化は前提でした。当初、利用者は3時間無料としていましたが、渋滞がひどいことになったため、数年後、2時間無料に変更されました。
4	ワークショップではアイデアは出ても、なかなかアクション、実行に移していく人が私の地域には少ないと思います。岡崎市では、どう支えて、人づくりをしていましたか？	アイデアからアクションに落とし込むためのワークショップを開催しました。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日居ても飽きない公共空間に「本」があることの重要性について、お考えをお聞きしたいです。</li> <li>・市民にとって、芝生ワークショップなどの活動的なワークショップには気軽に参加できるように思いますが、リビングラボのような議論を中心としたワークショップにも気軽に参加してもらえるような工夫はありますか？（決まった人たちや積極的な人だけが参加するようなイメージがあります）</li> </ul>	毎日居ても飽きない空間と本の関係はおっしゃる通りと思います。㎡当たりで滞在する市民の方の数が最も多い公共施設が図書館、という統計もあります。繰り返し出向き、滞在できるのが図書館の魅力ですね。決まった人や積極的な人と共に、どうやったら他の人が参加してくれそうか、を考えてもらうことが大事かなと思います。また、気軽に参加しやすい企画は企画で、別途考えたほうがよいかなと思います。
6	設計ワークショップを実際の設計と結び付けられるのでしょうか？プロポーザル入札方式で市民の声が届く余地がないように感じていますが…過去に行ったワークショップも全く反映していないので。	岡崎市図書館交流プラザりぶらの場合は、設計ワークショップを開催して市民意見を反映することを前提にしたプロポーザル方式でした。ここは、行政による制度設計の問題だと思います。

No.	質 問	回 答
7	<p>市民との対話、ワークショップについて。「市民」とは、どういう人を言うのでしょうか。</p> <p>① 商店街の代表の方々、図書館関係者(読み聞かせボラなど)、子育てグループの代表の方々、中学生や高校生など市などが依頼した人？</p> <p>② 興味ある人(自分での参加)のみ？</p> <p>③ ①と②の両者？</p> <p>④ 興味のない人？</p>	<p>一般論としては、「利用者」および「課題当事者」を分析して参加者を検討します。前者は、もし既存施設であればその利用者はもちろん、今後新しい利用者が考えられる潜在ユーザーを検討することも重要となります。課題当事者は「この話し合いによって決まったことによって、良い影響、悪い影響を受ける人」をいいます。よくあるのは、近隣住民への対応などが考えられます。こうした参加をしてもらうべきターゲットを設定し、ワークショップへの参加を呼び掛けるのか、ヒアリングをかけるのか、アンケートを取るのか、という住民参加の手法として何を採用するのかを考えるのが、ファシリテーターの役割になります。</p>
8	<p>菓子、花火、錦鯉、気球、金属加工等の特色は、人を集めることの核とならないでしょうか。するとすれば市の活性化につながるとは思います、産業側も努力することが必要だと思えますが？</p>	<p>それぞれに関心をもつ方はいらっしゃると思いますので、可能性として考えることは重要と思います</p>
9	<p>哲学の道など図書館発の散策の道にもあるかも。</p>	<p>そうですね。</p>
10	<p>このシンポジウムは次にどのような展開で進んでいくとよいと思えますか？(手塚さん、三矢さんへの共通質問)</p>	<p>年明けに始まるリビングラボが、皆さんの思いを受け止める場になる、と聞いています。</p>
11	<p>来場者の内訳(年代、年間の参加回数、図書館利用者等)を教えてください。(手塚さん、三矢さんへの共通質問)</p>	<p>何の来場者なのか、がわからないので、返答が難しいです</p>
12	<p>経済効果がどのくらいあるか教えてください。Ex. 農家さんの売上げがどうなったか等(手塚さん、三矢さんへの共通質問)</p>	<p>申し訳ありませんが、存じ上げません。岡崎市図書館交流プラザりぶら周辺の飲食店の売上げが爆増したことははっきりしています(以前は閑散としていた飲食店が満席となり、ランチが売り切れるなど)。</p>
13	<p>市民協働についての市議会議員の反応、行政側の反応</p> <p>①初期 ②指導後 ③現在</p> <p>市民協働は三矢さんのようなキーパーソンがいなくてもできますか？</p>	<p>岡崎市の場合は、1999年に私を含む有志で住民参加のまちづくりに関する啓発的なボランティア活動を始めていて、2004年に市役所の中に市民協働推進課が設置されるなどの変化がありました。こうした行政内部の仕組みの変更も重要かもしれません。市議会もおおむね市民参加、協働に対して前向きな対応をいただいた、と感じています。</p> <p>市民協働は、初動期は特に専門家を入れないと過酷かもしれないです。市民、行政、それぞれに考え方を変えるまでには、ある程度知識や経験のあ</p>

No.	質 問	回 答
		る人がテコ入れした方が上手くいくと思います。
14	全人口の何パーセントが動く側にいる感じですか？	まず一般論として、10 人の人がいたら、内心では 3 人が前向き、4 割が浮遊層、3 割は後ろ向きと言われます。思いのある人は 3 割くらいいる、という前提に立つのが重要です。コミュニティの規模が大きいテーマ程動く側になる人の割合は小さくなると思っています。30 万人が考えるべきテーマで 100 人が動けば立派だし、200 人の町内会の活動に 5 人が動けばそれも立派です。
15	街づくりのワークショップなどは決まった人しか来ずにムラ化しがちだと感じています。岡崎市では、多くの方々を巻き込んでいったように見えますが、どういうところがしっかりと展開できるポイントだと考えていますか？（ワークショップだけで終わらない）	中心的なメンバーと共に、どうやったら他の人たちを巻き込めるだろうかをしっかりと考えることが大事ですね。しかしその前提として、やっている本人らが「これは面白い！」と思えるような企画であれば、おのずと人が集まってきます。
16	今年はコロナでイベントが多く中止になっていると思います。「対コロナ」のような、今ならではの新しいイベントなど実施されていたら教えていただきたいです。（手塚さん、三矢さんへの共通質問）	3密を避けて屋外でイベント、とかはやっていますね。
17	豊かなパブリックライフにつながる居心地の良い空間はどのようなものが必須だと思いますか？（ゲスト全員への共通質問）	シンポジウム内で回答済み
18	サクセスストーリーでありそれが現在も続いているのでしょうか、逆に失敗例もあってよいのではないのでしょうか。（手塚さん、三矢さんへの共通質問）	岡崎市図書館交流プラザりぶらの例でいえば、りぶらサポータークラブのメンバーからも高齢化してきていて、如何にメンバーの入れ替わりを促進するのか、というのは今でも課題となっています。
19	市民と行政の協働 それぞれの立場でいろんな願いを持っている人たちの意見を話し合いの中でどのように絞り込み方向性を見出して具体的なものと人を結び付けていったのか。	シンポジウム内で回答済み
20	遠い所ありがとうございます。 地域と行政が協力して施設整備から運営をされているのは素晴らしいです。中心市街地活性化はどの自治体でもテーマになると思います。紫波町とかの駅直結はいいですね。岡崎市さんの川を中心とした街づくりも小千	そうしましょう！

No.	質 問	回 答
	谷で応用できると思います。今後の計画に市民が参加してよい施設を作りましょう。(手塚さん、三矢さんへの共通質問)	